OUAIEWS FLASH 2 **予選速報** 2009 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 第3戦 2009年5月31日(日) ツインリンクもてぎ

Bridgestone

HONDA **TOYOTA**

人気酒造

発行人/編集人: 株式会社 日本レースプロモーション 〒102-0047 東京都千代田区九段南2-3-25

www.f-nippon.co.jp

Take Free



5月30日(土)、全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第3戦の予選 がツインリンクもてぎで行われ、No.32 小暮卓史(NAKAJIMA RACING)がポールポジションを獲得。3位には地元・今市出身の No.10 塚越広大(HFDP RACING)が入った。

絶好調のNAKAJIMA RACING勢

予選方式は昨年と同じノックアウト方式。昼頃ににわか雨が降っ たが、予選Q1開始の午後1時、路面は完全なドライ。他チームよ りも頭ひとつ抜け出ていた感のある小暮がトップ、No.31 ロイック・ デュバル(NAKAJIMA RACING)が2番手に。これに続いたの は、No.8 石浦宏明(Team LeMans)、No.36 アンドレ・ロッテラー (PETRONAS TOM'S)。一方、O2進出を逃したのはNo.40 リ チャード・ライアン(DOCOMO DANDELION)とNo.48 立川祐路 (CERUMO/INGING)だった。



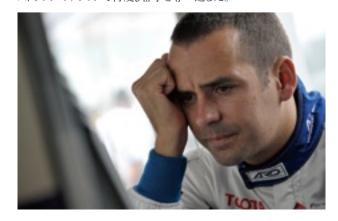


10分後にQ2が開始。まずピットを出たデュバルと小暮はフロントに ニュータイヤ、リアにユーズドタイヤを装着して、フロントタイヤをスクラブ (接地面の慣らし)すると、そのままピットインし、リアにニュータイヤを 装着して待機する。残り7分、各車がタイムアタックに出る中、2分ほど 遅れてデュバルと小暮もコースイン。計測1周目にタイムアタック。他が まだウォームアップラップの段階で、2台揃って1分34秒前半のタイム を叩き出し、デュバルがトップ、小暮が2番手。これに松田が続いた。 Q3進出を逃したのは、No.7 国本京佑(Team LeMans)、No.41 伊沢拓也(DOCOMO DANDELION)。さらに、ランキングトップ のNo.2 ブノワ・トレルイエ(LAWSON IMPUL)もセッティングが決 まらず、まさかのQ2敗退となった。

塚越と石浦のアタック合戦は塚越に軍配

Q3は午後1時50分から。ここでも小暮、デュバルは早々にフロント にだけニュータイヤをつけてコースイン。石浦も同じ作戦を取ってコー スに出ると、スクラブを終えてピットに戻る。他のマシンは残り時間が 6分半からニュータイヤでコースイン。そして、その1分ほどのちに、石 浦。続いてデュバル、小暮の順でコースへと入って行った。

この時、小暮は朝のフリー走行でスクラブだけしてあったリアタイヤ を装着している。そして、今度もNAKAJIMA RACINGの2台は、 他のドライバーがまだタイヤを温めている時点で、好タイムをマーク。 デュバルが1分34秒139、小暮はただ一人33秒台に入れ、1分33 秒772とチームメイトを引き離した。そのため、デュバルはアタックを続 行するが、自己ベストを更新できなかった。この2人に続いたのは塚 越だ。最初のアタックで3番手に付け、一時は石浦に抜かれるが、ラ ストラップのアタックで再度3番手を奪い返した。





Q3は自分でも"決まった!"という感じ

多分1年ぶりぐらいのポールポジション*で、今日は泣いてしまいそ うなほど嬉しかった。鈴鹿からウチのチームのクルマはすごく良く なっていたけど、自分はいいレースができなくて、途中で帰ってし まってチームにも怒られました。それが、こういうポールポジションと いう形で返せたので嬉しいです。

今日はチームメイトとの戦いになると思っていました。Q1、Q2で

はソツなく走れたという感じでしたが、Q3は自分でも"決まった!"と いう感じでしたね。本来なら、鈴鹿からポールポジション争いをで きるだけのポテンシャルはあったと思いますが、自分がそれをまと められなかった。でも、走り出しからトップ3にいれば気分も乗ります し、そういう意味では今回は上手く歯車を噛み合わせられたかな と思います。

* 2007年最終戦以来の予選1位となる



決勝ではとにかく優勝したい

そんなに悪い結果ではなかったよ。僕たちはいいクルマを手にしてい たし、僕と小暮の差はわずかだった。でもQ3は残念ながら、僕は十 分な速さを発揮することができなかった。最後もちょっと死に物狂いで もう1周アタックを続行したんだけど、タイヤのグリップダウンが早くて、 ベストタイムを更新することができなかった。彼にはおめでとうと言い たい。でも少し悔しいよ。明日の決勝ではとにかく優勝したいね。



タイムスケジュール(決勝日)

9:15

10:15 >> 10:45 Formula NIPPONフリー走行

10:55 >> 11:10 サーキットサファリ

11:20 >> 12:05 ピットウォーク

12:35 CIVIC 決勝(10周)

Formula NIPPON決勝(52周) 14:30

時間 9:00 12:00 15:00 21:00 <u>Weather</u> 本日の天気予報 (ツインリンクもてぎ) 天気 弱雨 弱雨 曇り 曇り 曇り 22 25 25

<u>Pit Assignment</u>

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 * | * | * | 1/2 | * | 20 | * | 48 | 31/32 | 36/37 | 7/8 | 40/41 | 10 | * | * | * |

Round 3 MOTEGI Race Preview - 第3戦決勝レースの見どころ

鍵になるのは天候だけではない!?

最大の注目はスタート。そしてピット戦略もみどころに。

まさに梅雨のはしりのような天候となった昨 日のフォーミュラ・ニッポン第3戦・予選。この天 候は本日の決勝日も続きそうな気配で、レース も蒸し暑いコンディションとなりそうだ。あるい は途中で雨となる可能性も否定はできず、天 候次第でレースの行方も全く読めないものとな るだろう。とは言うものの、まずキーポイントとな るのはスタート。ツインリンクもてぎは、他のサー キット以上にスタートの違反に厳しい。その分、 スタート時のドライバーには、非常に大きなプ

レッシャーがかかってくる。そのプレッシャーを 跳ね除け、1コーナーにトップで飛び込むのは 誰なのだろうか?

もてぎは、富士や鈴鹿に比べて、1コーナー までの距離は短く、前に出るのは難しいとさ れるが、最初の燃料搭載量やギヤ比によって も加速は変わってくるだけに、ここは重要な見 どころだ。またレース中のピット戦略も、今回は チームによって分かれるはず。NAKAJIMA RACINGの小暮、デュバルの2台が得意の



2ピット作戦で、予選同様に他チームを突き放 すのか。あるいは地元の星・塚越(写真)がべ テラン勢を追い越していくのか。そのあたりに も注目して欲しい。



"ブラボー"って言われるようがんばります

朝のフリー走行では思うように走れませんでした。その後、監督やエ ンジニアたちとセットアップの方向性やドライビングのことを話し合っ て、それでQ1、Q2と進むことができました。最後は"行くしかない"っ ていうことで思い切り行ったのが、上手くまとまりました。今日は、監督に "グッジョブ"と言われ、嬉しかった。勝つと"ブラボー"って言ってくれ るんですけど、そう言ってもらえるようにがんばります。



クルマのレベル的には表彰台に上がれる

Q3はクルマが多くて、結局計測3周目のタイムになりました。もし計測1 周目でアタックできていたら、塚越よりは前にいったでしょうね。もてぎは 得意なサーキットなので、一番前からスタートしたいという気持ちがあり ました。クルマのレベル的には間違いなく表彰台に上がれる力がある と思うので、ちゃんと走れば上がれるし、もし上がれなければ僕のせい ですね。雨でも、苦手意識はないので大丈夫だと思います。



5th: アンドレ・ロッテラー PETRONAS TEAM TOM'S /#36

決勝は表彰台を狙っていく!

今朝の流れは、満足のいく状態ではなく、スピードが足りなかった。で も予選になるとクルマは進歩して、Q2は特に手ごたえあるものになっ たよ。だからQ3ではもうちょっとタイムを削れると思ったのに、ごく僅か しか改善されなくて、しかもリアのグリップがなくなってしまい、Q2に比 べたらきっとコンマ5秒は損したように思います。レースでは1点でも多 くポイントを取ることはもちろん、表彰台を狙っていきます!

Nobody can expect the winner. Don't miss the race!! 新鋭の躍進、強豪の逆襲。天候以上に予想不可能の決勝レースから目を離すな!





予選トップ3が語るオーバーテイク・システムの使いどころ

今季から登場し、話題を呼んでいるオーバーテイク・システ ム。雨の前戦鈴鹿では、使用するシーンはほとんど見られな かった。では、この決勝ではどうだろうか? 予選トップ3のドライ バーは言う。ポールポジションの小暮卓史は「"ここで使おう"と いうシチュエーションは考えていませんが、やっぱりポールから 逃げたいですね。ここぞっていう時に使えたら使おうと思いま す。使うとしたら、やっぱりバックストレートだと思うんです」とコメ ント。一方、2番手のデュバルは、「よくボタンがついていることを 忘れちゃうんだよね(笑)。鈴鹿でもブノワ(トレルイエ)を追って いる時、中嶋監督が『ボタンを使え、使え』って無線で言ってい たんだ。セットアップが良ければ、無理に使う必要はないかもし れない。ただし、何周も誰かを追うような感じになったら使うだろ うね」と述べた。

自己最高位グリッドからスタートする塚越広大は、小暮と同 様、「使うとしたらバックストレートから90度コーナーにかけてで しょうね」ということだった。

Lap up Formula NIPPON!



株式会社 ニコン 株式会社 ニコン イメージング ジャパン

At the heart of the image







本紙への広告掲載のお問合せは:



株式会社 日本レースプロモーション 〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25

http://www.f-nippon.co.jp

編集制作: SIM co., ltd./JRPオフィシャルフォトグラファー: 小林稔、大西靖 撮影機材: Nikon D3, D3X, NIKKOR Lenses

Entertainment

10:20~11:00 キャンギャルオンステージ 11:20~11:40 ドライバートークショー



グランドスタンド特設ステージでは、フォーミュ ラ・ニッポン参戦ドライバーや監督、キャン ペーンガールのステージが目白押し!

11:20~12:05 ピットウォーク

大人気のピットウォーク! マシンを間近で見たり、憧 れのドライバーからサインをもらったり、キャンギャル を撮影するのもいいかも。参加料金:1,000円 ※前売ピットウォーク券が完売の場合は、当日ピットウォ 券の販売はございません。



12:35~12:45 とちぎ和牛プレゼントステージ

JAグループとちぎからビッグなプレゼント! おいしいとちぎ和牛をゲットするチャンス! グラ ンドスタンドプラザ特設ステージにて開催!



国歌斉唱は柴野真理子さん 決勝レース前セレモニー

レース開催を告げるセレモニーでは、地元栃木県那須烏山 市出身、4人組J-POPバンド「しばのまり子」のボーカリスト柴 野真理子さんが国歌斉唱。

コチラレーシングドリームマッチ!

「とちぎ和牛カップ」マスターズオブフォーミュラ

チーム監督やチームスタッフによるミニ レース「とちぎ和牛カップマスターズ・オブ・ フォーミュラ」をピットウォーク中、西コースに て開催。使用マシンはモテラだ。



※当日の天候やレース進行状況になどより、スケジュールの変更、中止する場合がございます

Kidsグリッドウォーク初開催!

中学生以下のお子様を対象に決勝レース前のダミーグリットに入場できるパスを限 定販売。インフォメーションセンターで5/31 9:30から販売!

LAWSON TEAM IMPULテント

LAWSON

グランドスタンドプラザのLAWSON TEAM IMPUL テントには、今日だけの特別企画がいっぱいです!

IMPULくじ

IMPUL応援グッズをお買い上げいただいた方はガチャポンができます。豪華景品 がその場で当たります!

※詳細は、IMPULテントスタッフまでお問い合わせ下さい。

08年チャンピオンマシン搭乗体験



IMPUL応援グッズをお買い上げいただいた方 は、IMPULテント横に展示しているIMPULマ シンに搭乗できます!

※搭乗体験は、女性と小学生以下のお客様に限ります。 ※中学生以上の男性は展示ロープ内に入ってマシンを 間近で見ることができます。

Information media

Find your Style J SPORTS



J SPORTSでは今年もFormula NIPPONの中継をします。 サーキットに来場できないファンに、リアルタイムでレースの臨 場感をお届けします(一部ディレイ放送)。

初回放送 5/31(日) 22:00~24:30 第3戦 決勝 ツインリンクもてぎ J sports 1 決勝再放送 6/1(月) 23:45~26:15 第3戦 決勝 ツインリンクもてぎ J sports 1 ○番組ホームページ: http://www.jsports.co.jp/tv/motor/f_nihon/



激走!GT

6/7(日)の「激走! GT」は、Formula NIPPON特集!! 毎週日曜日 17:30~18:00 テレビ東京系6局で好評放送中!

TX系列6局ネット: テレビ東京、テレビ大阪、テレビ愛知、テレビ北海道、テレビせとうち、TVQ九州 ○番組ホームページ: http://www.tv-tokyo.co.jp/gt/

F-PROJECT

NTT docomoのフォーミュラ・ニッポン通信実験サイト。車載映像とテレメトリデータを 配信します。○番組ホームページ: http://www.f-project.tv/



Motorsports Channel

ケータイでライブタイミングで走行中の全車両の順位、ラップタ イム、ピットインの情報をリアルタイムでチェック! レースをより面白 くする情報満載です。

DVD

2008 Formula NIPPON 総集編 絶賛発売中!

2008年の熱戦を振り返る。松田、小暮のオンボード映像、 星野監督のインタビューも収録。¥3,990(税込)。 全国のローソン、Loppi、J sportsオンラインショップ(http:// shop.jsports.co.jp/)、その他取扱店でお買い求めください



2009年 全日本選手権 フォーミュラ・ニッポン第4戦 富士スピードウェイ 同日開盤 2009年全日本フォーミュラ3選手権第7戦・第8戦 ホンダエキサイティングカップワンメイクレース200 2009年フォーミュラチャレンジ・ジャバン第7戦・第 □前売観戦券(2日間有効)大人5,500円/中学生以下無料□バドックバス(2日間有効): 興戦券込15,500円/小中学生5,500円

2009 フォーミュラ・ニッポン年間スケジュール

2009	74-32	ムノ・ーン小~平川ハク、	11-		
Rd.1	4/4,5	富士スピードウェイ	Rd.5	7/11,12	鈴鹿サーキット
Rd.2	5/16,17	鈴鹿サーキット	Rd.6	8/8,9	ツインリンクもてぎ
Rd.3	5/30,31	ツインリンクもてぎ	Rd.7	8/29,30	オートポリス
Rd.4	6/27,28	富士スピードウェイ	Rd.8	9/26,27	スポーツランドSUGO



FCI第5戦決勝レポート 佐々木がポールから逃げ切り今季2勝目

ポールシッターのNo.4 佐々木大樹はスタートから快調に飛 ばす。2番手のNo.17 三浦和樹は序盤No.16 蒲生尚弥に 迫られるがなんとかしのぎ、トップの佐々木に食らいつく。た

が、佐々木は最後には三浦に2秒の 差を付け今季2勝目を挙げた。佐々木 は「序盤に後続の追撃から逃れられ て優勝できましたし、すごくいいレース ができた」とレースを振り返った。



Po	No	Driver	Machine	Time/Gap
1	4	佐々木 大樹	NDDP オートバックスFCJ	23'06.584
2	17	三浦 和樹	HFDP/SRS スカラシップ	- 2.193
3	16	蒲生 尚弥	FTRS FCJ	- <i>5.156</i>
4	8	大谷 飛雄	FTRSスカラシップFCJ	- 7.563
5	5	銘苅 翼	FTRSスカラシップFCJ	- 8.089
6	1	中山 雄一	FTRS RAJAS FCJ	- <i>8.563</i>
7	9	野尻 智紀	HFDP/SRS-F/ARTA	-10.178
8	10	朱 戴維	Dragon Knight	-13.017
9	3	金井 亮忠	FTRS・チームNATSFCJ	-13.610
10	12	松本 武士	NDDP プロバイル FCJ	-16.458
			周回: 12周/天気: 曇り/コース: ド	ライ/出走: 18台

Support races qualifying result (top10)

FCJ第6戦 予選結果

1 CONTON 1 MANUAL				
Ро	No	Driver	Machine	Time
1	4	佐々木 大樹	NDDP オートバックスFCJ	1'54.615
2	16	蒲生 尚弥	FTRS FCJ	1'54.717
3	3	金井 亮忠	FTRS・チームNATSFCJ	1'54.748
4	17	三浦 和樹	HFDP/SRSスカラシップ	1'54.816
5	9	野尻 智紀	HFDP/SRS-F/ARTA	1'54.979
6	12	松本 武士	NDDP プロバイル FCJ	1'54.985
7	8	大谷 飛雄	FTRSスカラシップFCJ	1'55.004
8	5	銘苅 翼	FTRSスカラシップFCJ	1'55.130
9	1	中山 雄一	FTRS RAJAS FCJ	1'55.142
10	10	朱 戴維	Dragon Knight	1'55.203
				天気: 曇り/コース: ドライ/走行: 18台

ホンダエキサイティングカップワンメイクレース2009

~シビック・東日本シリーズ~第2戦 予選結果

Ро	No	Driver	Machine	Time
1	24	Takamori.com	NUTECエンドレスCIVIC	R 2'12.955
2	55	山口 吉明	MitaM-TEC SPMμ FD2	2'13.228
3	72	小川 鉄也	オートバックス☆DXL☆FD2	2'13.367
4	813	ピストン西沢	J-WAVE CIVIC ED	2'13.634
5	78	吉橋 孝之	カーズ東京・西千葉スノコμFD	2'13.686
6	8	伊藤 博之	DRAWING MS∙µ FD2	2'13.869
7	66	湊 雅之	新潟国際自動車ワコーズED TP	2'13.922
8	68	並木 重和	ENEOS·DD二イザCIVIC	2'13.926
9	70	小林つねはる	BOSS HKSメッカシビック	2'14.463
10	32	遠藤 光博	ナショナルインスツルメンツQ遊会FD2	2'14.622

